

シルバー世代に向けて
役立つ情報などを発信

シルバーニュース

問い合わせ
地域包括支援係

相手の声が聞こえづらくなつたな……

最近聞こえていないことが多いわ



■「難聴」は認知症の危険因子!?

耳が聞こえづらくなると、音による情報を処理する機会が減ってしまい、脳の働きが衰えていきます。

また、相手の声を聞き取りづらくなることで、コミュニケーションをとることがおっくうになってしまい人が多いそうです。

こういった脳の機能低下や社会活動の減少によって、認知症の発症リスクが上昇するといわれています。

■難聴による認知症を予防するポイント

①規則正しい生活習慣を!

生活習慣が乱れると血液循環が悪くなり、難聴の要因となります。

②少しでも不安があれば、耳鼻科を受診しましょう!

きちんと診断してもらうことで、治療や補聴器の装着など、聞こえを改善することができます。

毎月第2・第4火曜日10:00～11:00に、遠賀町ふれあいの里で無料補聴器相談を実施中!

聴覚障がいで身体障害者手帳を持っている人は、補聴器の支給が受けられるよ。障がい者支援係(☎093-293-1296)へ問い合わせてね。



人権・男女共同参画・国際交流に関する
情報を発信します



◆問い合わせ 協働人権係

多文化共生のまちをめざして

支え合いの架け橋「技能実習生」

遠賀町の外国人住民は、令和6年10月末現在300人で、その内の半数が「技能実習生」として町内で働いています。

技能実習生とは、技術や知識を身につけるために、一定の期間、日本の企業で働いている外国人のことです。

日本は技能実習生を受け入れることで、外国の経済発展を担う「人づくり」に協力しています。

一方で、技能実習生は日本の少子化による人材不足を補つておおり、介護職や建設業など人手不足が課題となっている職種で働いている人も多くいます。

つまり技能実習制度は、国と国が経済や生活を互いに支え、助け合う制度なのです。

今後ますます少子化が進み、技能実習生や外国人住民は増え続けると予想されます。地域でも国境を越えて良い関係を築いていくためには、互いに理解し合うことが大切です。

知ることから始めよう

母国や日本での生活状況、日本に来た背景などを知ることで、より相手を理解することができ、互いを思いやる気持ちも広がっていきます。

日本に住んでいる外国人のこと、学んでみませんか。

多文化ひろば講座～もっと知ろう外国人のこと～

- 日時 2/9(日) 10:00～12:00
- 場所 遠賀町中央公民館
- 対象 町内在住・在勤の人
- 定員 30人(先着順・要申込)
- 費用 無料
- 講師 小笠原 由紀さん
- 申込開始 1/6(月)



(公社)秋月財団
小笠原 由紀さん

月々定額新車生活なすべてくらコミコミ

もうすぐ車検の方! 中古車を探している方!

今話題のマイカーリースを
オススメします!



スズキセニアカー

電気で動きます。

手軽に操作できます。

歩道を通行します。

運転免許は
必要ありません。



ホームページ
<http://miyazaki-j.com/>
遠賀町別府3473-3 TEL.093-293-3333